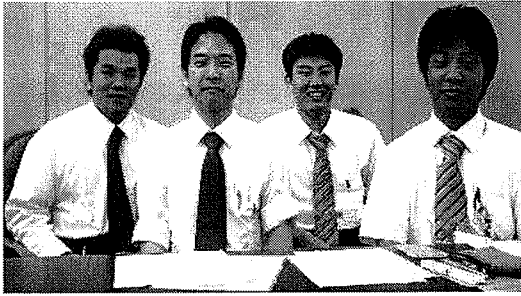


2006年度インターンシップ実習生の体験談 その1



<前半日程>
期間:8月7日(月)~8月18日(金)
平日10日間
時間:8:45~17:30
実習先:(株)富士通ワイエフシー
地域または医療ビジネス(事)
実習生:4大学より4名

①河本泰樹さん 工学部3年次 <実習先:地域ビジネス事業部>

Q1.実習課題、目標は?

会社とはどういった仕事をするのかを学ぶ。そして自分に足りないものや言葉使いを学ぶ。

Q2.当社を選んだのは?

自分がやってみたい実習内容に近かったため。

Q3.課題は達成できましたか? (できた点、不十分な点)

会社の雰囲気や流れは理解できました。マナーや言葉使いは皆さんの使っている所を見るだけであまりできませんでした。

Q4.実習を通しての具体的成果は?

他の会社は違うかもしれませんが会社の雰囲気や作業、SE/PG職、営業職の長所と短所などが理解できました。コミュニケーション力があまりないのでこれからつけていきたい。

Q5.当社をどのように理解しましたか?

本当に地域に密着していて大きな所から小な所まで幅広く活動し、人とのつながりを大切にしているんだと理解しました。

⑦石井智也さん 工学部3年次 <実習先:地域ビジネス事業部>

Q1.実習課題、目標は?

実際に働いてみてどのような仕事をしているのかを体験し、大学を卒業した後の参考になるようにしたい。

Q2.当社を選んだのは?

先生の紹介、そして自分の希望しているSE職種だったから。

Q3.課題は達成できましたか? (できた点、不十分な点)

業務内容を体験した事により、自分の目標、何が足りないかを認識できた。また自分のコミュニケーション不足から色々なことを聞き出せなかった。

Q4.実習を通しての具体的成果は?

自分にコミュニケーション能力が足りない事が理解できた。また知識が足りない事が解ったので勉強意欲がわいた。コミュニケーション能力を向上する為にも積極的に人と関わっていきたい。

Q5.当社をどのように理解しましたか?

横のつながりが強くチームワークがいい会社だと思う。地域に密着しているという事が実感できた。

②細谷祐介さん 経営情報学部3年次 <実習先:医療ビジネス事業部>

Q1.実習課題、目標は？

情報サービス業の仕事が実際にどういった形で社会や人に貢献しているのか、営業職の役割や仕事内容を学び自分の足りない部分を理解する。

Q2.当社を選んだのは？

ホームページで見た医療現場で働く人たちに役に立つシステムを提供する仕事で、営業職の人が実際にどのように働いているのかを体験したい。

Q3.課題は達成できましたか？（できた点、不十分な点）

病院の人の業務効率を円滑にしているシステムが患者さんや看護師さんに役立っている部分を学ぶことができた。社会人の先輩を見て自分の足りない部分を多く見い出すことができた。営業職が1日しかなかったのもっと深く学びたかった。

Q4.実習を通しての具体的成果は？

ソフ開発の業務が営業やSEなど多くの人の手によって作られていることを知りました。今までの営業職のイメージでは、こちらから話をたくさんしていかなければならないものだと思っていました。しかし、自分が話すことよりもお客様の話を抱えている問題を聞くということの方が重要であることを学びました。また、パソコンにだけ向かって仕事をしていると思っていたSE職もお客さんとのコミュニケーションを必要とする仕事だということを学びました。情報サービス業の仕事への興味がより深くなりました。

Q5.当社をどのように理解しましたか？

医療現場の抱えている大きい問題はもちろん、小さい問題の改善にも積極的に取り組み、地域の一人ひとりの仕事や暮らしにプラスの影響を与えている会社であると感じました。

提案と致しましてはインターンシップの学生が参加できない部分も多く、待時間があつたので、今後のために各部署ごとにインターンシップ学生でもできる業務をあらかじめ用意していただくと良いと考えます。

④佐野翔基さん 工学部3年次 <実習先:医療ビジネス事業部>

Q1.実習課題、目標は？

社会で通用するマナーを身につけておきたい。今まで得た情報処理知識をさらに向上させる。そして実際に働いているところを自分の目で見ることで、職業選択の幅を少しでも広げたい。

Q2.当社を選んだのは？

富士通といえば情報処理の業界では大手であるという認識があつたから。私はまだこの分野について詳しい知識を持っていないので、情報処理のあらゆる業務に触れることができるのではと思いました。

Q3.課題は達成できましたか？（できた点、不十分な点）

SE職に対して描いていたイメージや思っていたことが、実際の業務と同じだった点や少し違っていった点など明確にできたことが一番の収穫でした。マナーは実践していくなかで少しずつ身についたと思うのですが、知識の向上は話を聞いたり見学することも多かつたため上手く達成できなかったように思います。

Q4.実習を通しての具体的成果は？

開発にしろ運用にしろ、SE/PG職に対して抱いていたイメージを払拭し、明確なモデルとしてつかめたこと。私はSEは、一日中黙々とパソコン前にすわり喋ることなくずーっとカタカタとキーボードをたたいているイメージがあつたのですが、実際はお客さんと電話で話しをしたり、各病院に自ら出向いたり、職場でも同僚や上司と冗談を言ったりとても明るい職場なのだという事に驚きました。

Q5.当社をどのように理解しましたか？

SEはSE、PGはPG、営業は営業というようにそれぞれを完全に分けているわけではなく、技術職がメインだけど営業もやるというような総合的な動きができる方がたくさんいるということに驚きました。そのような人材育成をしつつもそれぞれの社員がモチベーション向上心を保ちつつけているのを見て、業務内容が充実しているのだというのを肌で感じとれました。またそのような雰囲気があるということはとても凄いことだと思いました。